

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 新見市		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 718-8501 岡山県新見市新見 3 1 0 番地 3	
本票作成	部署名：新見市 総務部 総務課				
主たる業種	分類コード	98	業種名：地方公務		
事業の概要	地方行政 職員数 5 1 1 人 (平成 2 6 年度)				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	新見市クリーンセンター		新見市金谷253	
	②	千屋温泉いぶきの里		新見市千屋花見1336-5	
	③	げんき広場にいみ		新見市上市15-1	
	④	馬塚浄水場		新見市馬塚3-2	
	⑤	グリーンミュージアム神郷温泉		新見市神郷高瀬3188-1	
	⑥	いぶきの里スキー場		新見市千屋花見1336-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 288 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 26)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	16,778 t CO ₂	21,252 t CO ₂	15,939 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 26)年度排出量
	①	新見市クリーンセンター	7,318 t CO ₂
	②	千屋温泉いぶきの里	1,685 t CO ₂
	③	げんき広場にいみ	861 t CO ₂
	④	馬塚浄水場	796 t CO ₂
	⑤	グリーンミュージアム神郷温泉	410 t CO ₂
	⑥	いぶきの里スキー場	280 t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間： 平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 (5 箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(26) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 26.7 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(26) 年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 26 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

二酸化炭素排出量については、前年比2,694 tCO₂増加(前年比14.5%増)となった。算定施設数を増やしたため排出量は大幅増となっているが、庁舎設備の更新や庁内LANによる省エネルギーの取り組みの呼びかけといった活動を続けており、施設ごとにみれば排出量減となっている施設もある。引き続き主要施設の設備の更新、デマンド管理などのソフト・ハード両方での取組を実施し、二酸化炭素排出量の低減を行う。

【推進体制】

総務部長（エネルギー管理統括者）を委員長とし、関係各課10名の委員で組織する「新見市エネルギー管理委員会」を組織している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
①新見市役所哲西支局 ②新見市役所哲多支局 ③市庁舎 ④新庁舎 ⑤新見市衛生センター	（平成26年度実施分） ①空調設備を吸収式冷温水発生器から冷温水発生器と電気式ヒートポンプの複合型に変更し、電力使用量の削減を図る。 ②空調設備をトップランナーに更新し、電力使用量の削減を図る。 （今後実施予定分） ③照明は主にFL・HF管を使用しているが、執務室を中心にLED化を図る。また、空調をトップランナーに更新し、効率の向上、省エネルギー化を図る。 ④省エネルギー機器を導入した新庁舎を建設し、施設を集約化することで、効率の向上、省エネルギー化を図る。 ⑤昭和52年築の施設なので、省エネルギー機器を導入し新築更新することで、効率の向上、省エネルギー化を図る。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	有	・「環境保全型ボランティア活動」として、9月、3月に2週間程度の間伐作業を実施。 ※平成27年度においても、上記活動を実施する予定である。
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

・冷暖房設備の使用電力量低減のため、クールビズ・ウォームビズを実施し、平成24年度よりクールビズに関しては、例年9月末までのところを10月末まで延長した上で実施。
 ・業務時間内における、照明設備の点灯箇所の削減。
 ・庁内LANによる、節電、ノーマイカーデーの取組を啓発し、平成24年度より県下統一に加え、市職員を対象としたノーマイカーデーを設定し、自動車燃料の削減を図っている。